

平成27年度第2回

国立市立学校給食センター運営審議会次第

日時：平成27年9月25日(金)午後2時

場所：国立市立学校第一給食センター会議室

1. 開 会

2. 議 題

(1) 会長選出

(2) 事業報告について (資料1)

(3) 学校給食費の収支状況について(8月31日)(資料2)

(4) 給食センター更新について(資料3)

(5) 会議録について

(6) その他

3. 閉 会

平成27年度事業報告（7月23日から9月25日まで）

年月日等		事業内容
平成27年 7月	23日(木)	平成27年度第1回運営審議会 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会 講演会 給食は栄養士からのメッセージ 「食教育の教材としての献立作り」
	30日(木)	食品衛生推進員講習会 食品衛生に関する知見
8月	3日(月)	物資納入登録業者選定委員会(第二学期分、8・9月分)
	4日(火)	多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会 実習:東京ガス業務用厨房ショールーム
	7日(金)	多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会職員合同研修会 多摩立川保健所「食中毒予防について」及び公益財団法人東京都学 校給食会による研修会
	11日(火)	地場野菜打合せ(8・9月分)
	25日(火)	平成27年国立市教育委員会第8回定例会
	26日(水)	中学校配膳員安全衛生講習会
	27日(木)	中学校調理員安全衛生講習会
	28日(金)	二学期給食開始(中学校) 第5回衛生委員会
	31日(月)	小学校配膳員安全衛生講習会
9月	1日(火)	小学校調理員安全衛生講習会 献立作成委員会(7月分の意見と10月分の審議)
	2日(水)	二学期給食開始(小学校)
	7日(月)	地場野菜打合せ(10月分)
	8日(火)	栄養連絡会(国立市)
	11日(金)	物資納入登録業者選定委員会(10月分)
	15日(火)	衛生委員会
	17日(木)	学校給食費収支状況監査(8月31日現在)
	25日(金)	平成26年度第2回運営審議会

放射性物質の測定について

外部検査機関（株式会社同位体研究所）での検査

品目	産地	測定結果 報告日	放射性物質の濃度 (Bq/kg)		
			ヨウ素 (I-131)	セシウム (Cs-134)	セシウム (Cs-137)
			実測値	実測値	実測値
6月3日飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	6月4日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
生クリーム	北海道	6月4日	ND (<0.8)	ND (<0.7)	ND (<1.0)
バター	北海道	6月4日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<0.9)
6月3日小学校給食		6月4日	ND (<0.8)	ND (<0.5)	ND (<1.0)
6月3日中学校給食		6月4日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
キャベツ	茨城県	6月4日	ND (<0.8)	ND (<0.7)	ND (<0.8)
人参	千葉県 市川市	6月5日	ND (<0.8)	ND (<0.7)	ND (<1.0)
人参	千葉県 銚子市	6月11日	ND (<0.8)	ND (<0.7)	ND (<1.0)
6月17日飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	6月18日	ND (<0.7)	ND (<0.7)	ND (<0.8)
あゆ	山口県	6月18日	ND (<0.9)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
冷たいか耳そうめん	岩手県 青森県 北海道	6月18日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
水菜	茨城県	6月18日	ND (<0.9)	ND (<1.0)	ND (<1.0)
とうもろこし	埼玉県	6月29日	ND (<0.8)	ND (<0.9)	ND (<1.0)
うなぎの蒲焼 刻み	愛知県	6月29日	ND (<0.9)	ND (<0.7)	ND (<1.0)
7月1日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	7月2日	ND (<0.9)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
さやいんげん	千葉県	7月2日	ND (<1.0)	ND (<0.9)	ND (<1.0)
冷凍ミックス ビーンズ	北海道 秋田県 山形県	7月2日	ND (<0.8)	ND (<0.7)	ND (<1.0)
えのき茸	長野県	7月2日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
ぶなしめじ	長野県	7月2日	ND (<0.9)	ND (<0.7)	ND (<1.0)
エリンギ	長野県	7月2日	ND (<1.0)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
7月15日 飲用牛乳	群馬県太田市 (東毛酪農業)	7月16日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
干しいたけ スライス	大分県	7月16日	ND (<0.8)	ND (<0.9)	ND (<1.0)
コショウ	マレーシア インドネシア 等	7月16日	ND (<0.9)	ND (<0.9)	ND (<1.0)

7月15日 小学校給食		7月16日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
7月15日 中学校給食		7月16日	ND (<0.8)	ND (<0.9)	ND (<1.0)
れんこん	茨城県	8月21日	ND (<0.7)	ND (<0.5)	ND (<0.7)
さつまいも	千葉県	8月21日	ND (<1.0)	ND (<0.9)	ND (<0.9)
レトルト 大豆	茨城県	8月21日	ND (<1.0)	ND (<0.9)	ND (<1.0)
さんま 甘露煮	千葉県 北海道	8月21日	ND (<0.9)	ND (<1.0)	ND (<0.9)
生なめこ	長野県	8月21日	ND (<0.8)	ND (<0.8)	ND (<1.0)
生せん切り ごぼう	茨城県	8月21日	ND (<1.0)	ND (<1.0)	ND (<1.0)
調理用 牛乳	千葉県 岩手県 北海道他	8月21日	ND (<0.9)	ND (<0.7)	ND (<1.0)

括弧内の数値は定量下限値で、NDは定量下限値にて不検出を意味します。
放射性セシウム基準値 牛乳：50Bq/kg、一般食品：100 Bq/kg

給食センターでの検査

測定日：平成27年6月1日から7月16日、8月28日から9月25日までの給食実施日
検体：飲用牛乳、小学校提供給食、中学校提供給食（提供給食は飲用牛乳を除く）
検査結果：検出限界値にて不検出
検出限界値：ヨウ素（約2.4 Bq/kg）、セシウム 134（約3.2 Bq/kg）、セシウム 137（約3.3 Bq/kg）

給食物資（7月使用分）の産地について

学校給食に使用する主な食材の産地は次のとおりです。なお、市場の供給量によっては変更になる場合もありますが、出荷制限となったものは使用いたしません。備考は自治体のホームページ等、国立市による過去の検査から情報収集したものを参考として記載しています。なお、字体が太いものは学期契約等の物資です。使用予定物資も含まれています。

お米等（放射性セシウム暫定規制値：100Bq/kg）

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
精白米	長野県	H26.10/17 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.6、セシウム137 検出限界値0.8未満）
	栃木県	H26.10/17 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.8、セシウム137 検出限界値1.0未満）
	秋田県	H26.9/25 湯沢市（セシウム134 検出限界値1.9、セシウム137 検出限界値1.4未満）
七分搗米	秋田県	
赤味噌（長野県、北海道）、白味噌（北海道、長野県）		
菜種油		オーストラリア
ごま油		ナイジェリア・タンザニア
A B C マカロニ		カナダ
温麺		アメリカ、カナダ
ひとくちもち		北海道
もち玄米		佐賀県、北海道
精白米、キャベツメンチ		国立産

牛乳・乳製品等（放射性セシウム基準値：50Bq/kg（牛乳）100Bq/kg（乳製品））

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
牛乳	群馬県 東毛酪農業協同組合	2/26 東毛酪農業協同組合測定（セシウム134、セシウム137 不検出）
調理用牛乳	群馬県 東毛酪農業協同組合	2/26 東毛酪農業協同組合測定（セシウム134、セシウム137 不検出）
バター	北海道	6/3 国立市による検査（セシウム134 定量下限値0.8未満、セシウム137 定量下限値0.9未満）
生クリーム	北海道	6/3 国立市による検査（セシウム134 定量下限値0.7未満、セシウム137 定量下限値1.0未満）
コーヒミルク	群馬県	
厚焼卵	新潟県、富山県	

*牛乳の備考欄日付は牛乳飲用した日です。

(注)産地の表記について、豪州=オーストラリア。

野菜・果物（放射性セシウム基準値：100Bq/kg）

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
ごぼう	青森県	H26.9/22 三沢市（セシウム134 定量下限値15.0未満、セシウム137 定量下限値10.0未満）
	群馬県	6/4 太田市（セシウム134 定量下限値4.1未満、セシウム137 定量下限値4.4未満）
キャベツ	茨城県	6/11 日立市（セシウム134 定量下限値11未満、セシウム137 定量下限値10未満）
小松菜	埼玉県	6/29.30 狭山市（セシウム134 定量下限値5.0未満、セシウム137 定量下限値4.2未満）
	東京都	6/25 府中市（セシウム134 定量下限値6未満、セシウム137 定量下限値5未満）
大根	岩手県	6/10 山田町（セシウム134 検出限界値6.33未満、セシウム137 検出限界値5.81未満）
	青森県	6/17 六ヶ所村（セシウム134 検出限界値15.0未満、セシウム137 検出限界値10.0未満）
	千葉県	H26.10/21 成田市（セシウム134 検出限界値6.0未満、セシウム137 検出限界値5.5未満）
長ねぎ	茨城県	6/8 結城市（セシウム134 検出限界値11未満、セシウム137 検出限界値9未満）
	千葉県	4/27 横芝光町（セシウム134 検出限界値4.1未満、セシウム137 検出限界値6.0未満）
えのき茸	長野県	H26.9/8 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.8、セシウム137 検出限界値0.9未満）
エリンギ	長野県	
ぶなしめじ	長野県	2/26 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.7、セシウム137 検出限界値1.0未満）
ほうれん草	東京都	5/26 大田区内（セシウム134 検出限界値5未満、セシウム137 検出限界値6未満）
	群馬県	5/14 沼田市（セシウム134 検出限界値4.4、セシウム137 検出限界値4.4）
さやいんげん	千葉県	6/9 野田市（セシウム134 検出限界値5.7未満、セシウム137 検出限界値4.3未満）
	茨城県	6/8 桜川市（セシウム134 検出限界値11未満、セシウム137 検出限界値8未満）
ピーマン	茨城県	2014.6/9 鹿嶋市（セシウム134 検出限界値11、セシウム137 検出限界値9未満）
チンゲン菜	茨城県	4/20 下妻市（セシウム134 検出限界値11未満、セシウム137 検出限界値9未満）
水菜	茨城県	4/20 下妻市（セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値9未満）
とうもろこし	群馬県、埼玉県	
なす	神奈川県、栃木県	
セロリ	長野県	H26.5/29松本市（セシウム134検出限界値5.3未満、セシウム137検出限界値4.6未満）
トマト	神奈川県	3/16藤沢市（セシウム134検出限界値4.2未満、セシウム137検出限界値5.0未満）
	千葉県 栃木県	5/26匝瑳市（セシウム134検出限界値4.4未満、セシウム137検出限界値5.8未満）
パセリ	長野県	
冬瓜	神奈川県、愛知県	

じゃがいも	長崎県、千葉県、茨城県	6/9 山武市(セシウム134 検出限界値5.4未満、セシウム137 検出限界値5.7未満)
生姜	高知県、千葉県	H26.9/30 山武市(セシウム134 検出限界値6.3未満、セシウム137 検出限界値5.3未満)
にら	茨城県	11/25 筑西市(セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値8未満)
きゅうり	神奈川県	3/23 平塚市(セシウム134検出限界値4.1未満、セシウム137検出限界値4.2未満)
ズッキーニ	長野県、千葉県	5/22 山武市(セシウム134検出限界値4.8未満、セシウム137検出限界値5.0未満)
にがうり	宮崎県 茨城県	6/22 古河市(セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値9未満)
人参	青森県 北海道	6/8 おいらせ町(セシウム134検出限界値15.0未満、セシウム137検出限界値10.0未満)
玉ねぎ	兵庫県 群馬県 愛知県	4/30 安中市(セシウム134検出限界値3.7未満、セシウム137検出限界値4.7未満)

(注)備考欄の*については、国のホームページの情報を掲載しています。

種類	産地	種類	産地	種類	産地	種類	産地
白菜	長野県	赤ピーマン	岩手県 高知県 千葉県	オクラ	鹿児島県	にんにく	香川県
グリーンアスパラ	長野県	国産はちみつ	東京都 立川市	葉ねぎ	高知県		

野菜・果物(加工品)

種類	産地	種類	産地	種類	産地	種類	産地
ハスカップゼリー	北海道	レモン果汁	和歌山県	シークワーサーゼリー	沖縄県	キラキラ餅	和歌山県
河内晩柑シャーベット	愛知県 高知県	七夕ゼリー(もも)	山梨県、長野県、山形県、新潟県、青森県、秋田県	冷凍りんご	青森県	切干大根	宮崎県
長芋スティック	青森県	おからこんにやくミンチ	北海道、愛知県、岐阜県	梅肉ペースト	紀州	冷凍ミックスビーンズ	北海道、秋田県、山形県

野菜・果物(地場野菜)

種類	使用予定日
ピーマン	7/8
たまねぎ	7/2、3、8、9
なす	7/3、8
にんじん	7/1、2、3、6、8、10、13、14、15、
じゃがいも	7/3、8、9、10、
はちみつ	7/8
きゅうり	7/8
トマト	7/2、8
精白米	7/8

魚介・海藻類(放射性セシウム基準値: 100 Bq/kg)

種類	産地	種類	産地
ちりめんじゃこ	宮崎県	あゆ	山口県

魚介(加工品)

種類	産地	種類	産地	種類	産地
いか切身	ペルー、	メルルーサ切身	アルゼンチン	さけ切身	北海道
いか耳そうめん	岩手県、青森県、北海道	笹かまぼこ	アメリカ	星ちらし蒲鉾	アメリカ、北海道
星型なると巻き	アメリカ、タイ	極細かまぼこ	アメリカ	ソイ切身	アメリカ
冷凍もずく	沖縄県	うなぎ蒲焼刺み	愛知県	炊き込みわかめ	三陸

肉・肉加工品(放射性セシウム基準値: 100 Bq/kg)

種類	産地	備考 (数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す)
鶏むね肉、	山梨県、長野県、静岡県	H26, 7/4 国立市による検査(山梨県 セシウム134 定量下限値0.9未満、セシウム137 定量下限値1.0未満)
豚肩肉	群馬県、茨城県	5/26 前橋市(セシウム134 測定下限値8.3未満、セシウム137 測定下限値9.8未満)
ショルダーベーコン	埼玉県	
ぎょうざ	群馬県	
カットウインナー	茨城県	
星型ハンバーグ	佐賀県	
粗挽きフランクフルト	埼玉県	

給食物資（8・9月使用分）の産地について

学校給食に使用する主な食材の産地は次のとおりです。なお、市場の供給量によっては変更になる場合もありますが、出荷制限となったものは使用いたしません。備考は自治体のホームページ等や国立市による過去の検査から情報収集したものを参考として記載しています。なお、字体が太いものは学期契約等の物資です。使用予定物資も含まれています。

お米等（放射性セシウム暫定規制値：100 Bq/kg）

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
精白米	長野県	H26.10/17 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.6、セシウム137 検出限界値0.8未滿）
	栃木県	H26.10/17 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.8、セシウム137 検出限界値1.0未滿）
七分搦米	秋田県	
白味噌（北海道、長野県、徳島県）		
ごま油	ナイジェリア・タンザニア・ブルキナファソ	
おはぎ（ばたもち）	北海道	
冷凍うどん	国産	
月見だんご	栃木県他	
白玉団子、チョコレート蒸しパン、蒸し中華麺	アメリカ	
トッポギ	富山県	

牛乳・乳製品等（放射性セシウム基準値：50 Bq/kg（牛乳）100 Bq/kg（乳製品））

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
牛乳	群馬県 東毛酪農業協同組合	6/25 東毛酪農業協同組合測定（セシウム134、セシウム137 不検出）
バター	北海道	6/3 国立市による検査（セシウム134 定量下限値0.8未滿、セシウム137 定量下限値0.9未滿）
生クリーム	北海道	6/3 国立市による検査（セシウム134 定量下限値0.7未滿、セシウム137 定量下限値1.0未滿）
プレーンオムレツ	新潟県、富山県	
豆乳マヨネーズ	オーストラリア	
厚焼卵	群馬県、栃木県、新潟県	
国産はちみつ	東京都	

*牛乳の備考欄日付は牛乳飲用した日です。

野菜・果物（放射性セシウム基準値：100 Bq/kg）

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
ごぼう	群馬県	6/4 太田市（セシウム134 定量下限値4.1未滿、セシウム137 定量下限値4.4未滿）
キャベツ	北海道	
	東京都	6/5 西東京市（セシウム134 定量下限値5未滿、セシウム137 定量下限値5未滿）
	群馬県	7/6 沼田市（セシウム134 定量下限値5.6未滿、セシウム137 定量下限値5.1未滿）
	茨城県 青森県	6/11 日立市（セシウム134 定量下限値11未滿、セシウム137 定量下限値10未滿）
小松菜	東京都	6/25 府中市（セシウム134 定量下限値6未滿、セシウム137 定量下限値5未滿）
長ねぎ	青森県	7/30 五戸町（セシウム134 定量下限値15未滿、セシウム137 定量下限値10未滿）
	岩手県	8/3 雫石町（セシウム134 定量下限値9.36未滿、セシウム137 定量下限値8.12未滿）
えのき茸	長野県	7/2 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.8、セシウム137 検出限界値1.0未滿）
エリンギ	長野県	7/2 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.8、セシウム137 検出限界値1.0未滿）
ぶなしめじ	長野県	7/2 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.7、セシウム137 検出限界値1.0未滿）
白ぶなしめじ	長野県	ぶなしめじ7/2 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.7、セシウム137 検出限界値1.0未滿）
生なめこ	長野県	8/21 外部検査機関による測定（セシウム134 検出限界値0.8、セシウム137 検出限界値1.0未滿）
ほうれん草	栃木県	6/23 茂木町（セシウム134 検出限界値4.3、セシウム137 検出限界値3.7）
	群馬県	5/14 沼田市（セシウム134 検出限界値4.4、セシウム137 検出限界値4.4）
	岩手県	7/7 一関市（セシウム134 検出限界値7.68、セシウム137 検出限界値7.57）
ピーマン	茨城県	2014.6/19 神栖市（セシウム134 検出限界値11、セシウム137 検出限界値8未滿）
	岩手県	7/22 岩手町（セシウム134 検出限界値9.44、セシウム137 検出限界値10.2）
	青森県	7/15 青森市（セシウム134 検出限界値15.0、セシウム137 検出限界値10.0）
赤ピーマン	高知県 千葉県	ピーマン7/7 四街道市（セシウム134 検出限界値5.2、セシウム137 検出限界値5.4）
さつまいも	千葉県	8/4 香取市（セシウム134 検出限界値6.2、セシウム137 検出限界値6.3）
チンゲン菜	茨城県 静岡県	4/20 下妻市（セシウム134 検出限界値11未滿、セシウム137 検出限界値9未滿）
水菜	茨城県	4/20 下妻市（セシウム134検出限界値11未滿、セシウム137検出限界値9未滿）
なす	群馬県	6/24 沼田市（セシウム134 検出限界値5.4未滿、セシウム137 検出限界値5.2未滿）
	茨城県	7/6 古河市（セシウム134 検出限界値11未滿、セシウム137 検出限界値8未滿）
セロリ	長野県	H26.5/29松本市（セシウム134検出限界値5.3未滿、セシウム137検出限界値4.6未滿）
パセリ	茨城県	H24.9/18行方市（セシウム134検出限界値11未滿、セシウム137検出限界値11未滿）
きゅうり	群馬県	7/6安中市（セシウム134検出限界値5.0未滿、セシウム137検出限界値5.0未滿）
玉ねぎ	北海道	

里芋	鹿児島県 千葉県	H26.12/2香取市（セシウム134検出限界値5.3未満、セシウム137検出限界値4.5未満）
かぶ	青森県	こかぶ、6/8野辺地町（セシウム134検出限界値15.0未満、セシウム137検出限界値10.0未満）
レタス	長野県 茨城県	リーフレタス、7/8東御市（セシウム134検出限界値5.0未満、セシウム137検出限界値4.3未満） 3/16古河市（セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値9未満）
にら	栃木県 茨城県	7/28那須町（セシウム134検出限界値3.6未満、セシウム137検出限界値3.1未満） H26.11/25筑西市（セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値8未満）
にんにく	青森県	
白菜	長野県	H26.6/10小海町（セシウム134検出限界値4.1未満、セシウム137検出限界値4.7未満）
チンゲン菜	茨城県 静岡県	4/20下妻市（セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値9未満）
れんこん	茨城県	6/24土浦市（セシウム134検出限界値11未満、セシウム137検出限界値8未満）

(注)備考欄の*については、国のホームページの情報を掲載しています。

種類	産地	種類	産地	種類	産地	種類	産地	種類	産地
とうもろこし	北海道	かぼちゃ	北海道	にがうり	宮崎県	生むき栗	国産	人参	北海道
じゃがいも	北海道	生姜	高知県	大根	北海道	葉ねぎ	福岡県	巨峰	山梨県、長野県
ブロッコリー	北海道、長野県								

野菜・果物（加工品）

種類	産地	種類	産地	種類	産地	種類	産地
冷凍ミック スピーズ	国産	みかん1号缶 ホール	国産	冷凍カットじゃ がいも	国産	きなこ	北海道
カップ納豆	北海道	蒸し黒豆	北海道	冷凍金時豆	北海道	冷凍むき枝豆	宮崎県
カットゼリ ー(りんご)	山形県	おからこんにやく ミンチ	北海道、愛知県、岐 阜県	冷凍カット里芋	大分県	たくあん千切 り	埼玉県、群馬 県、茨城県
冷凍石垣島 生パイン	沖縄県	野菜コロッケ	北海道	じゃが持ちポー ル	国産	りんごシロッ プ漬け	青森県
メロンゼリー	北海道	すだちゼリー	徳島県	豆腐ひじきハン バーグ	栃木県 青森県 岩手県	カリカリ梅	紀州
りんごパイ	カナダ アメリカ 青森県	豆乳かぼちゃプリ ン	国立産かぼちゃ 国産豆乳使用	安納焼き芋	鹿児島県	切干大根	宮崎県

野菜・果物（地場野菜）

種類	使用予定 日
じゃがいも	8/28、9/3、10、14、17
なす	9/2
はちみつ	9/24

魚介・海藻類（放射性セシウム基準値：100Bq/kg）

種類	産地	種類	産地	種類	産地
ちりめんじゃこ	愛知県	青のり	徳島県	たらこ	アラスカ

魚介（加工品）

種類	産地	種類	産地	種類	産地
ホキ切身	ニュージーランド	いかボール	ペルー沖	さけ切身	北海道
いかナゲット	ペルー沖	ところてん	式根島	あじフィレ	ベトナム
いわしフィレ	青森県	あじのさんが焼き	長野県、北海道	もみじ蒲鉾、月見ちらし蒲鉾	アメリカ、北海道
冷凍もずく	沖縄県	極細かまぼこ	アメリカ	八丈ムロメンチ	八丈島
さば切身	ノルウエー	笹かまぼこ	アラスカベーリング海	いわしさつま揚げ	駿河湾、北海道
いかてんぷら	ペルー	さんま甘露煮	千葉県、北海道	8/21 外部検査機関による検査（セシウム134 定量下限値1.0未満、セシウム137 定量下限値0.9未満）	

肉・肉加工品（放射性セシウム基準値：100Bq/kg）

種類	産地	備考（数値の単位はBq/kgで、検出限界等を示す）
鶏むね肉、	山梨県、長野 県、静岡県	H26, 7/4 外部検査機関による測定（山梨県 セシウム134 定量下限値0.9未満、セシウム137 定量下 限値1.0未満）
鶏むね肉ひき肉・もも肉	山梨県	H26, 7/4 外部検査機関による測定（セシウム134 定量下限値0.9未満、セシウム137 定量下限値1.0未満）
豚肩肉・バラ肉	群馬県	H26, 7/4 外部検査機関による検査（セシウム134 定量下限値0.9未満、セシウム137 定量下限値1.0未満）
春巻	愛知県、鹿児島県	
ショルダーベーコン、ポークハム、カットウインナー	埼玉県	
豚肩肉短冊	茨城県	4/9 外部検査機関による検査（セシウム134 定量下限値1.0未満、セシウム137 定量下限値1.0未満）
ポークミートボール、ぎょうざ	群馬県	

平成27年度学校給食費収支状況

(期間 平成27年4月1日～平成27年8月31日)

収 入

(単位: 円)

区 分	調定額	不納欠損額	収入額	未収入額	摘 要
給 食 費	94,469,420	0	80,279,627	14,189,793	収納率 84.98%
現年度給食費	82,899,257	0	79,492,018	3,407,239	収納率 95.89%
過年度給食費	11,570,163	0	787,609	10,782,554	収納率 6.81%
前年度繰越金	18,043,823	0	18,043,823	0	
雑 入	19,663	0	19,663	0	預金利子等
合 計	112,532,906	0	98,343,113	14,189,793	

支 出

(単位: 円)

区 分	支出額	摘 要
主食購入代	9,776,569	内訳は別紙 のとおり
副食購入代	47,317,778	〃
牛乳購入代	14,232,986	〃
調味料購入代	3,251,190	〃
合 計	74,578,523	

合 計

(単位: 円)

収入合計	98,343,113
支出合計	74,578,523
差引残額	23,764,590

上記のとおり報告いたします。

平成27年9月17日

国立市教育委員会

教育長 是 松 昭 一

平成27年度学校給食費収支状況表（小学校）

（単位：円）

項目 月	① 調定額	② 収入額	③ 未収入額	④ 支出額	⑤=②-④ 差引額	(人) 喫食者数
4	12,060,181	11,739,731	320,450	10,626,401	1,113,330	46,214
5	13,345,485	12,944,974	400,511	13,291,612	△ 346,638	58,714
6	13,397,308	12,868,430	528,878	16,316,204	△ 3,447,774	70,424
7	15,741,227	14,987,827	753,400	8,810,931	6,176,896	38,056
9			0		0	
10			0		0	
11			0		0	
12			0		0	
1			0		0	
2			0		0	
3			0		0	
合計	54,544,201	52,540,962	2,003,239	49,045,148	3,495,814	213,408

平成27年度学校給食費収支状況表（中学校）

（単位：円）

項目 月	① 調定額	② 収入額	③ 未収入額	④ 支出額	⑤=②-④ 差引額	(人) 喫食者数
4	6,616,356	6,364,356	252,000	6,016,534	347,822	21,680
5	6,639,430	6,337,930	301,500	6,938,519	△ 600,589	24,504
6	6,636,872	6,267,872	369,000	7,331,498	△ 1,063,626	27,238
7	8,462,398	7,980,898	481,500	5,246,824	2,734,074	17,740
9			0		0	
10			0		0	
11			0		0	
12			0		0	
1			0		0	
2			0		0	
3			0		0	
合計	28,355,056	26,951,056	1,404,000	25,533,375	1,417,681	91,162
小中 合計	82,899,257	79,492,018	3,407,239	74,578,523	4,913,495	304,570

平成27年度月別支出内訳（小学校）

(単位:円)

項目 月	主 食			副 食				牛 乳	調味料	合 計
	パン	米	めん	肉類	魚類	野菜・果物	その他物資			
4	824,659	528,770	80,775	853,976	793,796	2,400,061	2,546,225	2,228,968	369,171	10,626,401
5	867,473	940,490	0	1,407,363	1,305,298	2,598,155	2,658,533	2,828,271	686,029	13,291,612
6	1,013,880	846,263	288,082	1,653,059	1,278,770	3,523,881	3,755,343	3,282,966	673,960	16,316,204
7	479,198	565,347	104,328	911,270	440,521	2,119,454	2,078,775	1,776,404	335,634	8,810,931
9										0
10										0
11										0
12										0
1										0
2										0
3										0
計	3,185,210	2,880,870	473,185	4,825,668	3,818,385	10,641,551	11,038,876	10,116,609	2,064,794	49,045,148
比率	6.49%	5.87%	0.96%	9.84%	7.79%	21.70%	22.51%	20.63%	4.21%	100.00%
合計		6,539,265			30,324,480			10,116,609	2,064,794	49,045,148

平成27年度月別支出内訳 (中学校)

(単位:円)

項目 月	主 食			副 食					牛 乳	調味料	合 計
	パン	米	めん	肉類	魚類	野菜・果物	その他物資				
4	304,276	347,164	120,164	665,465	705,956	1,224,292	1,405,242	955,136	288,839	6,016,534	
5	394,041	411,858	34,564	625,558	977,220	1,522,136	1,591,533	1,097,137	284,472	6,938,519	
6	316,291	420,429	231,167	823,214	715,166	1,622,876	1,511,848	1,310,852	379,655	7,331,498	
7	290,707	221,870	144,773	490,540	1,015,481	988,889	1,107,882	753,252	233,430	5,246,824	
9										0	
10										0	
11										0	
12										0	
1										0	
2										0	
3										0	
計	1,305,315	1,401,321	530,668	2,604,777	3,413,823	5,358,193	5,616,505	4,116,377	1,186,396	25,533,375	
比率	5.11%	5.49%	2.08%	10.20%	13.37%	20.99%	22.00%	16.12%	4.65%	100.00%	
合計	3,237,304			16,993,298					4,116,377	1,186,396	25,533,375
小中 合計	9,776,569			47,317,778					14,232,986	3,251,190	74,578,523

過年度給食費年度別収支一覽表

平成27年8月31日現在

(単位: 円)

年 度	当初調定額	不納欠損額	最終調定額	収入額	未収入額
平成 17年度	468,782	0	468,782	6,050	462,732
平成 18年度	817,426	0	817,426	41,890	775,536
平成 19年度	1,113,645	0	1,113,645	21,950	1,091,695
平成 20年度	883,483	0	883,483	21,350	862,133
平成 21年度	821,538	0	821,538	2,027	819,511
平成 22年度	1,534,398	0	1,534,398	42,526	1,491,872
平成 23年度	1,694,028	0	1,694,028	129,345	1,564,683
平成 24年度	1,464,190	0	1,464,190	85,200	1,378,990
平成 25年度	1,329,157	0	1,329,157	136,298	1,192,859
平成 26年度	1,443,516	0	1,443,516	300,973	1,142,543
合 計	11,570,163	0	11,570,163	787,609	10,782,554

※ 収入合計額内訳

小学校	516,449 円
中学校	271,160 円
収納率	6.81%

監 査 報 告 書

1. 監査執行日時 平成27年9月17日（木）
 午前9時～10時
2. 監査場所 国立市立学校第一給食センター会議室
3. 監査対象 平成27年4月1日から平成27年8月31日
 までの学校給食費収支にかかわる帳簿及び預金
 通帳等

平成27年度の学校給食費収支状況（平成27年4月1日から平成27年8月31日まで）について、帳簿及び預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成27年9月17日

国立市立学校給食センター運営審議会

監査員 堀江 美

(堀江)

監査員 稲田 早織

(稲田)

国立市立学校給食センターについて

< 給食センターの沿革 >

昭和 41 年 9 月に学校給食の早期実現を望む 19,000 名に及ぶ署名請願が町議会に出され、各校方式かセンター方式かの議論の末、昭和 42 年 11 月に小、中学校同時にセンター方式で学校給食を実施することが決定された。

翌昭和 43 年 1 月に給食センター建設に着手、9 月 9 日に小中学校 7 校(当時小学校 5 校、中学校 2 校)5,400 食を対象に完全



給食が実施された。児童生徒の増加により隣接地に第二給食センターを建設し昭和 51 年 1 月 12 日から 3 校(三小、七小、一中)2,616 食を対象に給食を実施した。

昭和 52 年 9 月に児童と生徒の栄養基準量の違いから、第一給食センターを小学生、第二給食センターを中学生対象とし、現在に至っている。

< 学校給食施設更新の検討経過 >

1. 国立市立学校給食センター運営審議会答申 (H18.6)

【骨子】

- ・ 早急に新たな施設を設ける必要がある状態
- ・ 自校方式が優れるが財政的な裏付けが必要
- ・ 運営形態の如何に関わらず市が責任を持って安全性に配慮し、運営すべき

2. 給食センター施設・整備性能診断調査結果 (H19.4)

【概要】

- ・ 実際に建物、設備及び調理状況を現地調査した結果、ドライ運用がなされていない点、また施設全体が狭隘であり、十分な機器配置、作業空間が確保できない状態や、明確な衛生区画が確保されていない現状からして、「安心・安全」な学校給食を目指すためには早急な対策が必要
- ・ 「防鼠防虫措置」「結露対策」「床下ピット浸水対策」などは緊急な課題
- ・ 中長期的な視点では、「改修」「建替え(現在地)」「新設(別途敷地)」を検討する必要

- ・「改修」については、コストを掛けても満足のいく結果にはならないこと、「建替え」については法規制の問題や給食の長期間停止などクリアすべき課題が大きいこと、「新設」についてはより良いものを作れる可能性は高いが、新しい土地の確保や予算措置が必要
- ・設計・建設に最短でも2から3年を要するため、早期の判断が必要となる。

3. 学校給食センター施設整備検討委員会（H19.9）

【報告概要】

- ・現在地での建て替え、改修は、法的規制のクリアーや、敷地に余裕がないため提供食数に対する施設規模が不十分
- ・文部科学省の基準はもとより、衛生管理上有効な施設とはなりえないと判断
- ・給食の停止期間の長期化も考慮し、別途土地を確保して、新築する方向
- ・運営形態等、事業コストの削減や、より質の高い学校給食サービスの提供を目指す
- ・保護者等の理解を得ながら、事業推進のため、コンサルタントを起用し公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用した新しい事業手法(PFI手法等)も選択肢として検討

(注釈)ドライシステム（運用）とは

床に水が落ちない構造の施設・設備、機械・器具を使用し、床が乾いた状態で作業するシステムです。

ドライ運用とは、ウエットシステムの調理場においてもドライシステムと同様、床を乾かした状態で使うことです。このことで床に有機物や水分を落とさないため細菌の繁殖を防止できるとともに、床からの跳ね水による食品の汚染も防止できます。また、ドライ使用・ドライ運用は、長いゴム前掛や長靴の必要がないため、調理従事者の身体の負担軽減にもなります。

4. 給食センター運営審議会の意見書（H21.6）

【概要】

- ・現給食センターの老朽化は極めて緊急度の高い課題であり、新たな土地を求めての給食センターの建て替えは、市の事業の中でも最優先して早期に実現すべき施策である

< 現在想定される課題 >

1. 施設・設備等の老朽化

- ・建築後30年以上が経過しており、学校給食センターが最も重視すべき衛生面において高いレベルで維持する事を考慮すると、新給食提供施設整備の必要性が高い。

2. 安全・衛生の確保

- ・学校給食衛生管理基準や HACCP へ対応（非汚染区域の分離、一方通行の動線確保等）した施設整備が必要である。

(注釈) HACCPとは

1995年に改正された食品衛生法の中に「総合衛生管理製造過程」の承認制度が導入される。食品の品質、安全を管理するための規格で、「危害分析」「重要管理点の分析」や「記録及び各種文書の保管」などを基本的な原則としている。あらかじめ、HACCPプランといわれるマニュアルを作成し、日常の衛生管理を機械的に行うことにより、原菌の汚染や増殖を防止して、食中毒などの食品による事故を予防する。

3. 食育への取り組み

- ・試食会や給食提供施設見学の機会を利用した給食への理解の促進を図る必要がある。
- ・食農教育を含む更なる地産地消の推進が必要である。
- ・施設整備に伴い、アレルギー除去食または代替食の提供等について検討する必要がある。

4. 公共施設としての役割

- ・将来の児童・生徒数の動向に見合った給食サービスの提供が必要である。
- ・公共施設として、環境負荷への対応、災害時の対応、バリアフリー、地域貢献などを検討する必要性が存在すると考えられる。

5. 立地状況

- ・H19調査において、給食センターの改修、改築（同一敷地内での建替え）、新築（別途敷地）の判断を行うことが課題と示されている。
- ・現敷地は第二種住居地域であり、法的にクリアすべき課題が多い。

給食センターは、建築基準法上その構造等から工場に分類されるため、市街化区域内に建設する場合、建設可能な用途地域は、工業専用地域か準工業地域となる。
ただし、その他の用途地域に建設する場合は、建築基準法第48条ただし書き「特定行政庁が住居の環境を害する恐れがないと認め、又は公益上やむを得ないと認めて許可した場合においては、この限りではない」の適用が必要。

< 今後の検討に関する方向性（予定） >

給食施設整備に関する整備基本計画策定にあたっては下記項目について検討を進める予定

1 . 基本的な考え方及び前提条件の整理

今後の国立市の学校給食のありかたを検討するにあたり、まず、国立市における学校給食を取り巻く環境や財政状況、過去の検討経過や課題、将来の食数の推計、周辺自治体の状況等を整理

2 . 給食提供手法の検討

給食を提供する手法としては、主に、自校方式、親子方式、センター方式、デリバリー方式の4つが存在。

「国立市立学校給食センター運営審議会答申（H18.6）」等の過去の検討結果を最大限尊重したうえで、各手法の特徴や全国の動向等を把握するとともに、多面的に比較・評価し、国立市にもっとも適した提供手法を検討

3 . 給食提供に係る事業手法の検討

給食を提供する事業手法としては、現在の公設公営方式の他に、公設民営方式、PFI手法等、民間事業者の知見・アイデアを活用する手法も存在

今後の国立市の給食提供にあたり、より質の高い給食を提供でき、かつ財政負担を削減できる事業手法を、量的および定性的に検討

4 . 基本計画案の策定

上記検討を踏まえ、今後の国立市の学校給食のあるべき姿を示した理念を策定するとともに、今後の施設整備に向けた基本的な方針・計画である方向性を示した「国立市学校給食施設整備基本計画（仮称）」を策定